

総合体育館の長寿命化計画の進捗状況と予定について

成本 直寛



問 総合体育館の長寿命化計画に基づく改修工事現在の進捗状況、予定している工事内容、体育館を利用できない期間、工事完了の時期、利用者への周知について伺う。

答 本年度中に設計を行い、令和6年度の工事実施を予定している。外壁・設備改修・大体育室の空調機設置・フットサル対応設備・音響設備・省エネ化への対応を予定している。工事のスケジュールや完了時期は未定ではあるが、利用者への影響が最小限になるよう努めるとともに、利用不可の期間が明らかになった際は速やかに周知していく。

◆道庭緑地沿いの構想路線について

問 吉川市都市計画マスタープランの南部地域整備方針図によると、道庭緑地沿いに主要幹線道路（構想路線）が記されている。進捗状況や近隣自治体との協議の経過について伺う。

答 埼玉県および近隣市と、計画の位置づけや周辺土地利用状況・交通状況の確認等の情報交換を行っている。実現に向けてはさまざまな課題があるが、長期的な視点で考えていく。

市内アカミミガメの生息状況の把握を

飯島 正義



問 アカミミガメは令和5年6月1日から条件付特定外来生物に指定され、野外への放出等が禁止されました。市民の方から、「新栄一丁目東側に流れる大場川にたくさんのアカミミガメが生息している」「中井沼公園のハナショウブやハスが食べられているのではないか」という声が寄せられました。市の認識と今後の調査等の取り組みを伺います。

答 アカミミガメによる被害がないため、市内の調査は考えていません。中井沼のハスが減少しているとはっきり特定できていませんが、そのような情報については施設管理者と情報共有していきたいと考えております。

◆自転車用ヘルメット購入に補助制度の導入を

問 令和5年4月から、自転車のヘルメット着用が努力義務となりました。市民の方の関心も高く、問い合わせや要望等も寄せられています。市内在住のすべての方を対象に購入補助の導入を求めるのがいかがでしょうか。

答 補助の場合、費用対効果、継続性というものも考えていく必要があると考えております。

子育て支援について

岩崎 小百合



問 本年4月に、国はこどもが自立し等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、こども家庭庁を創設した。「こどもまんなか社会の実現」を掲げ全てのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、最もよいことは何かを考えた取り組みを国の中心に置いていくとしている。5市1町では越谷市、草加市、三郷市が国の「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしている。今後、市として取り組む予定はあるか。

答 市はこれまでも、妊娠から出産・その後の子育て支援まで切れ目が出ないよう事業展開を図り、宣言の趣旨である、こども達を応援するための各種取り組みを行っている。宣言の趣旨は理解しているが、すぐに取り組む予定はない。

問 市のホームページのトップページを子育て世代に寄り添ったものにリニューアルする予定はあるか。他市では、トップページに市公式のSNS等ソーシャルメディアのリンク先が掲載されている所がある。検討はされているか。

答 大幅な変更予定はないが調査研究をする。

水害のないまち吉川へ、豊かで夢のある吉川づくり

齋藤 詔治



問 6月発生の台風2号で本市に多大な被害が発生。いずれの地域も被害が恒常化している。浸水地域へ広大な農地を活用した実効性のある総合治水対策が急務。第一排水区（吉川駅北口から吉川二丁目まで、木売落し西側3万5千トンの雨水）木売落し2層化計画は、当初工事費35億円が58億円に増大になり中止。代替案として、既存の共保ポンプ場の増強工事約22億円と説明。被害を精査し、より実効性のある費用対効果を鑑みた総合治水対策への取り組みは。

答 第一排水区治水対策は、共保雨水ポンプ増強の効果により、費用対効果の観点から国が管轄する江戸川河川事務所と協議を実施している。

問 須賀・榎戸地区は、越谷総合公園川藤線の整備・東埼玉道路ICの設置・中川河川改修に伴う新川橋補修整備等の多くの事業が計画されている。これらの事業と連携した治水対策への取り組みとして、国・県・他市町とどのような協議をしているのか。

答 当地域は中川・綾瀬川流域を中心とした内水被害が発生。今後、春日部市を含む県南東部6市1町と県による協議会が予定されている。